

ありがとう6年生



●一年生の手を引いてきらめき遠足

3月2日(水)「六年生を送る会」が開かれました。卒業していく六年生に対し、在校生たちが**感謝の気持ちと別れのさびしさ**をにじませながら、ステージで心のこもった発表を行いました。

各学年がそれぞれに6年生に「**ありがとう**」を伝える姿を見ながら、その「ありがとう」の意味について考えてみました。「やさしく**お世話**してくれてありがとう。」であり、「**リーダー**としてわたしたちを引っ張っていってくれてありがとう。」であり、「**目標**となる立派な**お手本**になってくれてありがとう。」でしょうか。

そうであるなら、なぜ6年生たちは、そんな姿を下学年に見せることができたのでしょうか。

それは、6年生たちが、去年の6年生を見ていたからです。おとしの6年生もその前の6年生もずっと見てきて、「**6年生とは、こういうものだ。**」と知らず知らずのうちに習ってきたからです。

そういうのを、**伝統**と呼ぶのですね。

6年生のみなさん、**善っ子**のよい伝統を守ってくれてありがとう。今、下学年のみんなは、着実にそれを習っているからね。そして、また次の世代に**引き継いでくれる**からね。

●全校のリーダーとしてがんばりました



●本番ではかっこいい姿をみせます



●学ぶときには熱心に



●下学年から愛されました



●本を読んであげましょう



●4×100mリレーでも駅伝でもよい成績をおさめました

